

《金目の遺産 明日につなぐ》

# 金目エコだより

発行日 令和3年10月1日  
 発行者 金目エコミュージアム広報委員会  
 連絡先 平塚市立金目公民館内 ☎58-0101  
<http://hiratsuka.johokyoju.net/area/kaname>

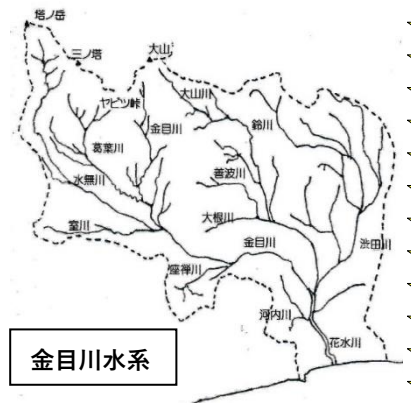


## “暴れ川”金目川と生きてきた金目

令和3年7月3日(土)に平塚市に大雨警戒レベル5の「緊急安全確保」が全国で初めて出て、テレビで放送され、一躍、平塚と金目川が有名になりました。レベル5が発出される前には金目川が氾濫危険水位を超え、避難所が開設されました。しかし、避難した住民は少なく、大事には至りませんでした。ここ数年の雨の降り方は50年前とは違うように思われます。金目に住む私たちは、金目川が暴れ川と呼ばれ、これまでに数多くの氾濫・洪水を起こしてきました。また金目川は農耕に必要な水を取り入れる重要な川である事を知っておきましょう。

### 金目川水系

秦野市と平塚市を流れる金目川は、春嶽山を水源として葛葉川・室川を合流し、秦野市河原町で東へ流路を変えて座禅川を合流し、金目を通り河内川・鈴川・渋田川を合流して相模湾にそそぐ延長21.0kmの二級河川です。これらの川を金目川水系といい、その河川水は塔ノ岳・新大日・行者ヶ岳・烏尾山・三ノ塔・二ノ塔・菩提峠・塔ノ台・ヤビツ峠・春嶽山・大山と連なる丹沢表尾根を分水嶺としています。下流では花水川と呼ばれています。



金目川水系

### 金目川の生い立ち

丹沢山地は、フィリッピン海プレートに乗った丹沢島が500万年前本州に衝突し、その後、伊豆島が100万年前に本州に衝突して、丹沢山地が隆起しました。今の丹沢と伊豆半島となりました。この頃に金目川が誕生したと考えられ、4万年前の金目川は葛川と合流し、二宮の相模湾に流れていました。

2万年前、渋沢断層の活動で大磯丘陵が隆起し、金目川は行き先を塞がれ河原町あたりから東へ流路を変え、南金目を通り平塚域に流れるようになりました。この時期は氷期で海面は今よりかなり低下していました。その頃の流路は南金目から金目西郵便局→岡崎→寺田縄→東八幡を通り相模川に合流していました。現在の流路になったのは15世紀前半(1421年)～17世紀初頭(1609年)頃だと考えられています。

また6000年前(縄文時代)の金目は、温暖化で気候が今より2度ほど高く、海面が数m高くなり、金目の台地以外は海でした。従って、当時の金目川の河口は南金目付近(北金目バス停付近)だと思われます。

### 近世の金目川

金目川は河床が高いため、用水として使いやすく、地域の農業を支えました。相模国屈指の水田稲作地帯となりました。しかし、その利点ゆえに洪水が発生しやすく、近世を通して10年に1度の割合で洪水を起こしました。

#### (大堤の決壊と御所様堤)

上流からの流れが雷電山(南金目神社)にぶつかり勢いを増して大堤に当たるため、大堤は度々決壊しました。大堤が決壊されると、旧河道に沿って水を押し流し、低地の田畑に甚大な被害を出しました。又、片岡堤や飯島堤の破損や一度に複数の堤防が破損することも多くありました。徳川家康は慶長13年(1608年)の大堤の決壊で生活に苦しむ農民を見かねて、慶長14年に大堤を普請しました。農民たちはこの大堤を「御所様堤」と呼んで感謝の意を表しました。

#### (富士山の宝永噴火と被害)

金目川は富士山の宝永噴火(宝永4年(1707))による降砂で埋まり、更に宝永6年(1709)には川に流れ込んだ降砂で川底が浅くなり、洪水が一段と発生しやすくなりました。なお、宝永噴火の降砂は田で21cm積もり、水田全体の43%が、また畑は24cm積って畑全体の50%に被害があったと記録されています。

## 近代～現代の金目川

近代（明治）以降も度々氾濫を繰り返しました。昭和 55 年（1980）頃、太田（南金目）のいかつちの堤が大破しましたが、以降、堤が強化されたり、川底が掘り下げられたり、丹沢の植林が進み保水力がついたため洪水がなくなりました。ここ数年は、護岸工事も進みましたが、昨今の異常気象がもたらす想定外の大雨には、氾濫寸前の越水状況が起こっています。

### 「緊急安全確保」が発令された 令和 3 年 7 月 3 日（土）金目川の様子



片岡 R3.7.3.11:45 撮影



金目観音前 R3.7.3.11:45 撮影

水害について、警戒レベルにより下記表のとおり定められています。平塚市が出す避難情報に基づき、住民が取るべき避難行動が示されています。

#### 水害（大雨洪水・川の氾濫）に備えて

警戒レベル	避難情報等（平塚市）	気象状況	避難行動（住民が取るべき行動）
5	緊急安全確保	災害の発生又は切迫	命を守って！（より安全な場所へ）
警戒レベル4までに避難			
4	避難指示	災害のおそれ高い	全員避難（安全な場所へ避難）
3	高齢者等避難	災害のおそれあり	高齢者や体の不自由な方などは安全な場所へ避難
2	大雨・洪水注意報 （気象庁）	気象状況悪化	避難方法等の確認（ハザードマップ等により自宅等の災害リスク等の再確認）
1	早期注意情報 （気象庁）	今後気象状況悪化のおそれ	最新情報に注意・災害への心構えを高める

引用参考資料 「金目川の博物誌」 平塚市博物館（2008 年）、 「水と生きる里一金目の風土とその魅力」 平塚市博物館（2014 年）  
「天変地異—平塚周辺の自然災害」 平塚博物館（2015 年）

写真撮影 金目エコ会員

## お知らせと報告

### ※収穫祭中止のお知らせ

新型コロナウイルス感染症拡大が続いているため、一般参加者および収穫祭関係者の皆様の健康と安全を守るため、11月に予定していた「**金目エコ収穫祭**」を中止いたします。

### ※ふれあい朝市の開催

8月7日（土）8時30分から、野菜販売の朝市がふれあい広場で開催。家庭菜園規模で収穫された野菜が6店舗で出品され、品数もスイカ・かぼちゃ・インゲン等10種類以上が並び、お客様もそれぞれの店の前で品定めと売り手との会話を楽しみながら買い物をエンジョイしている姿が見受けられました。短時間ではありましたが、地域の皆様とのコミュニケーションが図られました。次回は11月初旬（柿が目玉）を予定しています。  
（農・食文化グループ）

